TAKE FREE
ご自由にお持ちください

2026 vol.10

NADOLIVE
ナドリーブ



Contents

特集1 診療科紹介①
ストローク&ブレインセンター

特集2 診療科紹介②
循環器内科

特集3 診療科紹介③
美容外科

医療の現場から / 地域連携施設のご紹介 / Information

社会医療法人社団蛍水会 名戸ヶ谷病院

センター長ご挨拶

脳卒中は「時間との闘い」です。
1分1秒の遅れが、その後の生活の質を大きく左右します。
私たちは、高度な専門性と豊富な臨床経験を結集し、
地域における脳卒中および脳神経疾患に対する
診療の中核拠点としての責任を果たしてまいります。
地域の皆さまにとって、いざという時に安心して
任せていただける存在であり続けることが、
私たちストローク＆ブレインセンターの使命です。
そして地域の皆さまの「命を救う医療」と
「人生を守る医療」の両立を実現してまいります。
脳や神経に関することでご不安がございましたら、
どうぞお気軽にご相談ください。



植田 敏浩

ストローク＆ブレインセンター長
愛媛大学卒
米国アイオワ大学留学・同州医師免許取得
前聖マリアンナ医科大学脳神経外科教授
日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医



開頭手術



脳血管内治療

スタッフの紹介

当センターのメンバーは、脳神経外科医7名と
脳神経内科医2名の計9名です。

脳神経外科専門医(指導医)	6名(4名)
神経内科専門医(指導医)	2名(2名)
脳血管内治療専門医(指導医)	7名(2名)
脳卒中学会専門医(指導医)	6名(3名)
総合内科専門医	2名
神経外傷専門医	1名





特集1 診療科紹介①
ストローク＆ブレインセンター

NADOGAYA
Stroke & Brain Center

ストローク＆ブレインセンター開設のご案内

脳卒中から、幅広い脳・神経の病気まで。
24時間365日、地域の命と未来を守ります。

2026年4月、当院は脳卒中診療体制を全面的に刷新し、「ストローク＆ブレインセンター」を設立しました。
従来の脳神経外科に、新設の脳血管内治療科と脳神経内科を加えた3診療科が一体となり、
救急から専門治療まで切れ目なく対応する体制を整えました。

I. 7名の脳血管内治療専門医による高度な専門治療

脳血管内治療専門医7名が在籍し、豊富な経験と専門性を結集して治療にあたります。急性期脳梗塞に対する血栓回収療法には24時間体制で対応。脳動脈瘤に対するコイル塞栓術などの予定治療も含め、患者さん一人ひとりに適した高度な脳血管内治療を提供します。

II. 3診療科の連携で、幅広い脳・神経疾患に対応

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの急性期脳卒中から、頭部外傷、さまざまな神経疾患まで、幅広く診療します。脳神経外科・脳血管内治療科・脳神経内科の専門医が連携し、外科治療、血管内治療、内科治療を組み合わせて、最適な治療につなげます。

III. 24時間365日のホットラインで、「断らない救急」へ

救急隊や地域のクリニックの先生方からのご相談・受け入れ要請に、24時間365日対応する脳卒中ホットラインを整備しました。「断らない救急」を基本姿勢に、地域と緊密に連携し、一刻を争う患者さんを迅速に専門診療へつなぎます。

IV. 脳卒中集中治療室(SCU)12床とICU8床が稼働

SCU12床とICU8床の計20床にて、重症患者、開頭術および脳血管内治療後の患者、さらに急性期の脳卒中患者を受け入れます。

専門医の力を、チームの力へ。地域の皆さまとともに、脳と神経の救急医療を支えます。



名戸ヶ谷病院で、心臓の治療ができます

心臓カテーテル室を新設しました

「心臓のことは、遠くの大きな病院まで行かないと診てもらえない」。
そう思っておられる方は多いのではないでしょうか。
名戸ヶ谷病院では、2025年7月から、心臓の血管を治す「心臓カテーテル治療」を院内で行ってきました。
そして2026年9月7日、心臓専用のカテーテル室が新しくできました。
住み慣れた地域で心臓の治療を受けていただける体制が、少しずつ整ってきています。

心臓カテーテル治療とは



手首や足の付け根の血管から細い管（カテーテル）を心臓まで進め、血管の内側から治療する方法です。狭くなった血管を風船で広げてステントという金属の筒で支えたり、不整脈の原因となる部分を焼いて治したりします。胸を切らずに行えるため体への負担が少なく、高齢の方にも受けていただけます。

心筋梗塞は「時間との勝負」

心臓は、休みなく全身に血液を送り続けるポンプです。心臓自身にも「冠動脈（かんどうみゃく）」という血管があり、この血管が血のかたまりで突然詰まり、心臓の筋肉が壊れていく病気が急性心筋梗塞です。血の流れが止まっている時間が長いほど心臓の筋肉は広く傷み、命に関わるだけでなく、助かった後も息切れやむくみに悩まされることになります。詰まった血管を1分でも早く開けることが、命を救い、その後の生活を守る一番の近道です。心臓カテーテル室の新設にあわせて、当院でも急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療を始めました。



転院の時間が、いらなくなりました

これまで当院では、急性心筋梗塞で緊急のカテーテル治療が必要と分かっても、治療のできる病院へ転院していただく必要がありました。連絡や移動に、どうしても時間がかかります。心臓カテーテル室ができたことで、来院から検査、診断、治療までを院内で一続きに行えるようになり、治療までの時間を大幅に短くできます。1分でも早く治療を始めるには、ご自宅から近い病院で治療を受けられることが何よりの強みです。胸の症状が心配なときは、お近くの当院にご相談ください。

専門医4名で、できる治療が広がりました

この春から循環器の専門医が4名になりました。狭心症・心筋梗塞に対するステント治療に加え、心房細動をはじめとする脈が乱れる不整脈を治す「カテーテルアブレーション」、脈が遅くなる病気に対して胸を切らずに入れる小型の「リードレスペースメーカー」まで、院内で対応できるようになりました。血管の病気も脈の病気も、地域で診療を完結できる循環器内科を目指しています。



「いつもと違う」と感じたら

心筋梗塞は、胸の強い痛みとは限りません。胸が締めつけられる、息苦しい、冷や汗、吐き気、肩や背中・あご・腕の痛みとして現れることもあり、高齢の方や糖尿病のある方では、はっきりした胸の痛みがないことさえあります。20分たってもおさまらない、休んでも楽にならないときは我慢せず、119番に電話してください。ご自身で運転して来られるのは危険です。

また、階段で息が切れる、動悸がする、足がむくむといった小さな変化も、心臓からのサインのことがあります。当院の循環器内科へお気軽にお越しください。

医師、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士がチームとなり、地域の皆さまの心臓を守ってまいります。





形成外科専門医による 美容外科外来のご案内

20年以上の経験を持つ形成外科医が、お悩みに寄り添い、
安全性と満足度を大切にした美容医療をご提案します。

01 シニアライフを明るく過ごすための美容外科外来

人生100年時代。仕事や子育てがひと段落した後も、趣味や家族との時間を楽しみ、いきいきと過ごしたい方が増えています。当院では、医学的な診断に基づき、年齢とともに気になるお顔の変化に対して、見た目と気持ちの両面を支える治療をご提案します。

このようなお悩みはありませんか？

- ☑ 顔のしわやたるみが気になる
- ☑ まぶたが重く、目が開けにくい
- ☑ 目の上や下のたるみで疲れて見える
- ☑ シミや盛り上がったできものが目立つ
- ☑ できものが悪性でないか心配
- ☑ 見た目を整えて前向きに過ごしたい

シミ・できもののご相談

シミには老人性色素斑、脂漏性角化症、そばかす、肝斑、ADMなどさまざまな種類があります。当院では症状に応じて、炭酸ガスレーザー、内服治療、取り扱い化粧品などをご提案します（シミ取り専用レーザーは導入していません）。ほくろや皮膚がんなど、見た目だけでは区別が難しいできものもあります。まず医師が診察し、治療できるシミか、検査や切除が必要かを確認します。
レーザー治療には、短期間で治療できる、傷跡が目立ちにくいといった長所があります。一方で、赤み、かさぶた、炎症後色素沈着、再発の可能性などの注意点もあります。治療前には、期待できる効果や治療後の経過、アフターケアについて丁寧にご説明します。

当院で行う主な治療

- ■炭酸ガスレーザー …… ほくろや脂漏性角化症など、盛り上がったできものに使用することがあります。
- ■手術 …… 悪性が疑われる場合や、病理検査が必要な場合に検討します。
- ■内服治療 …… トランサミン、シナール、ユベラなど。
- ■取り扱い化粧品 …… レチナール配合製品（レチナCパンプアップセラム）、ハイドロキノン配合製品（HQ-E）など。

レーザー治療には、赤み、かさぶた、炎症後色素沈着、再発などのリスクがあります。効果や治療後の経過、ケアについて事前にご説明します。

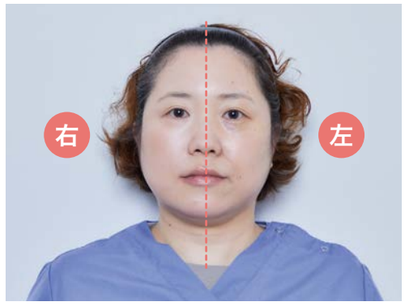
02 若々しさを保ち美しさを引き出す美容医療

ヒアルロン酸やボトックスビスタなどの注入療法

ほうれい線や口元のしわ、額・眉間・目尻の表情じわには、ヒアルロン酸やボトックス注射で目立ちにくくする方法があります。ヒアルロン酸はボリュームが減った部分や深いしわをふっくら整え、ボトックスは筋肉の動きによる表情じわをやわらげます。
当院では顔全体のバランスを見ながら、自然で明るい印象を目指します。治療前に効果や持続期間、腫れ・内出血などのリスク、治療後の注意点をご説明します。



左手のみヒアルロン酸を注入



右顔のみヒアルロン酸を注入
※こちらの写真は当院の職員です

二重まぶたのご相談

10代後半から30代・40代以降の方、男性からも相談が増えています。まぶたの形を整えることで、目元や表情がすっきり見え、メイクもしやすくなることがあります。
まぶたの厚みや皮膚の状態、左右差、目の開き方、顔全体のバランスを確認し、一人ひとりに合った治療をご提案します。仕上がりやダウンタイム、腫れ・内出血について事前に説明し、術後も経過を確認します。

当院で行う主な治療

■埋没法　■切開重瞼　■目頭切開（今後展開予定）

まぶたのたるみ・眼瞼下垂、目の下のくま

まぶたが下がる、目が開けにくい、視野が狭い、眠そうに見えるなどの症状は、眼瞼下垂が原因の場合があります。視野の妨げや目の疲れにつながることもあるため、診察で保険診療の対象か、美容目的の治療かを判断し、適した方法をご説明します。
眼瞼下垂の手術は入院で行い、必要に応じて当院眼科や近隣の眼科と連携します。目の下のくま治療は今後展開予定です。

当院で行う主な治療

■眼瞼下垂　■表ハムラ法（今後展開予定）

当院の美容外科外来の特徴

形成外科専門医が医学的な診断を大切にし、保険診療から美容診療まで幅広く対応。手術、レーザー、ヒアルロン酸注入、ボトックス注射などから必要な治療をご提案します。診察の結果、保険診療が適切な場合は保険診療で対応します。

まずはお気軽にご相談ください

しわ、たるみ、シミ、まぶたの重さなど、お悩みは人それぞれです。一人ひとりのお話を伺い、若々しく明るい毎日を支える治療をご提案します。お気軽にご相談ください。

医療の現場から 薬局編

薬剤部では主に入院患者さんの内服薬・注射薬の管理を行っています。
昨年度より病棟での業務が開始となり、他職種との連携を強化し、
より質の高い医療提供に努めています。

1. 調剤業務





医師の処方内容について各々の患者さんに適した薬剤であるか、正しい用法用量であるか、
併用薬との相互作用の有無などを確認し、必要に応じて処方医に
問い合わせを行った上で調剤をします。

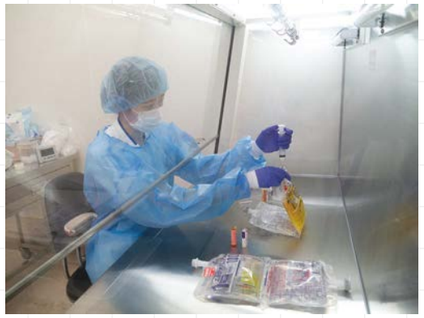
2. 病棟業務





各病棟に 1 名ずつ薬剤師が常駐し、患者さんの薬剤の把握と服薬指導を中心に行っています。患者さんの病態経過や指導を通じて得られた情報を医師や看護師と共有し、患者さん一人一人に寄り添った服薬計画の検討に活かしています。

3. 抗がん剤調製業務・無菌調製業務



無菌室には陽圧で無菌性を維持するクリーンベンチ、陰圧で調製者の曝露を防止する安全キャビネットが設置されており、高カロリー輸液や抗がん剤の調製を行っています。

4. 外来指導業務





デバイス製剤が開始となる患者さんや外来処置を受ける患者さんへの指導も行っています。



入院・外来問わず、治療においてお薬は非常に重要です。
患者さんが安心して薬物療法を受けられるよう、
他職種と連携しながら一人一人に寄り添った
医療提供を目指し、日々業務に励んでいます。

5. 委員会



感染対策や褥瘡対策など各種委員会のカンファレンスや回診に参加しています。チーム医療の一員として他職種と意見交換を行います。

求人情報はこちら

私たちの仕事に興味を持たれた方は
連絡をお待ちしています。

https://www.nadogaya.com/recruit　TEL.04-7167-8336 人事課

地域連携施設のご紹介

柏駅前形成外科
リンパ浮腫クリニック

患者様に寄り添い、心身の健康を
支えられる温かいクリニックを目指します。



Q1 どのようなクリニックですか？

一般的な形成外科の診療に加え、特にリンパ浮腫治療を専門とするクリニックです。皮膚のできものやほくろ、まぶたの症状、美容のお悩みも診療しています。特に、がんの手術後などに生じる二次性リンパ浮腫や、生まれつきのリンパ管の障害によるむくみを専門的に診ています。



Q2 診療で大切にしていることは？

患者様のお話をしっかり伺い、心身の状態に寄り添った丁寧な診療を心がけています。症状に応じて地域の病院とも連携しています。



Q3 治療の特徴を教えてください。

リンパ浮腫の診断・治療に加え、皮膚のできものやほくろは診断から手術まで対応します。美容診療ではフラクショナルレーザーなど各種レーザー機器なども導入し、美肌治療やシミ治療も行います。

専門的な知識と技術をもとに、
より良い治療を追求し、
患者様を支えてまいります。



Q4 今後力を入れたいことは？

リンパ浮腫は、患者様だけでなく医療関係者にも十分に知られていません。病気について知っていただき、早期受診と適切な治療につなげることで、重症リンパ浮腫や象皮病と呼ばれる深刻な状態に進行する患者様を少しでも減らしたいと考えています。

Q5 地域の皆様へメッセージをお願いします。

腕や脚のむくみがあり、内科などで検査しても原因が分からない方は、紹介状がなくても気軽にお問い合わせください。リンパ浮腫に限らず、皮膚のできものやお肌の気になる症状など、どこに相談すれば良いか分からない場合も是非ご相談ください。地域の身近なクリニックとして、専門的な医療を提供いたします。

柏駅前形成外科
リンパ浮腫クリニック

TEL.04-7157-1262

〒277-0021
柏市中央町 2-12 Crobis 柏 1 階
JR 柏駅南口より徒歩 3 分
＊「コメダ珈琲店柏モディ店」様の斜向かい、
「平成内科クリニック」様の隣りです。

休診日 木曜・土曜午後・日曜・祝日



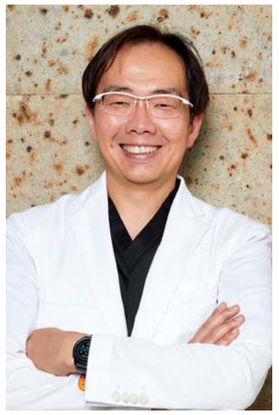
HPはこちら

Hospital News
院内情報

新入職医師のご紹介 New Doctor

このたび、新しく２名の医師が入職しました。
それぞれの専門分野を活かし、地域の皆さまにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

循環器内科 齋藤（さいとう） 哲史（てつし）



出身大学
東京医科大学

専門医、認定医
循環器内科専門医、
日本内科学会認定内科医

所属学会
日本内科学会、
日本循環器学会、
日本心血管
インターベンション
治療学会 CVIT

趣味、休日の過ごし方
猫と遊ぶ、ランニング、
料理

患者さんへメッセージ

診療において、患者さんがお身体の不調や心配ごとなどを何でも気兼ねなく相談できるよう心がけております。
また、近隣医療機関との連携も大切にしながら、地域の皆さまの健康を支えてまいります。

内科 和田（わだ） 文絵（ふみえ）



出身大学
新潟大学

専門医、認定医
専攻医２年目

所属学会
内科学会、
脳神経内科学会

趣味、休日の過ごし方
外出して勉強、
友人や野良猫と遊ぶ、
コーヒー、紅茶

患者さんへメッセージ

内科専攻医の和田文絵です。内科全般を診させていただく予定です。できる限り患者さんが病気で苦しまないよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

市民公開講座を開催しました Seminar

９月５日（土）、柏市民文化会館にて、市民公開講座「脳卒中から命と生活を守る！」を開催しました。脳卒中の予防や早期発見、治療についてなど、当院の医師がわかりやすく解説。多くの皆さまにご参加いただき、知っていただきたい大切なポイントをお伝えしました。



会場の様子

広報誌
NADOLIVE
発行日：2026年11月
発　行：名戸ヶ谷病院



理　念

私たちは全人的医療を目指します

いつでも患者さんの立場に立って医療を行います
先進技術を導入し、適切な医療を実施するように努力します
救急医療を中心に予防医学にも力を注ぎ、医療のあらゆる分野に全力を尽くします

基本方針

1　患者さんの権利を尊重し、患者さんの信頼と満足が得られるような医療を行うように努めます
2　救急医療、急性期医療を当院の使命と考え、救急患者さんは小児から高齢者まですべて受け入れます
3　予防医学から在宅医療、高齢者福祉・介護まで、地域に密着した包括的医療を目指します
4　地域医療機関や施設との機能分担や連携を図り、救急病院としての機能と責務を果たすよう努力します
5　高度な医療と安らげる環境を提供するために、職員の教育と研修に努めます

Access



■電車の場合
東武アーバンパークライン（野田線）「新柏駅」下車　徒歩約 7 分

■電車とバスの場合
JR 柏駅東口 5 番バス乗り場　東武バス［柏 33］［新柏 01］
新柏駅行きに乗車し、「名戸ヶ谷病院入口」下車　徒歩 2 分

■無料巡回バスも運行しています
ルート内であれば、乗り降りは自由な場所で行っていただけます。
ルートの詳細は HP をご覧ください。

社会医療法人社団蛍水会　名戸ヶ谷病院

〒277-0084　千葉県柏市新柏 2-1-1
TEL　04-7167-8336（代表）
https://www.nadogaya.com/